

## LNG 燃料石炭専用船の設計基本承認を共同取得

～次世代石炭専用船の開発に着手～

当社はこのたび、東北電力株式会社（以下「東北電力」）殿、株式会社商船三井（以下「商船三井」）殿と共同で新型石炭専用船を対象に、ロイド船級協会（以下「ロイド」）殿より、LNG 燃料対応設計の基本承認（AIP ; Approval in Principle）※<sup>1</sup>を取得しました。

本件は石炭輸送船を対象として、当社が東北電力殿、商船三井殿と研究を進めたもので、ロイド殿による基本計画図面の審査とリスクアセスメント（HAZID ; Hazard Identification Study）※<sup>2</sup>を実施し、今般基本設計を終えました。

船社、荷主、造船所による3社共同のLNG燃料船AIP取得は本邦初となります。

本船の特徴として、LNG燃料タンクを船尾区画に設置することにより、船型を大型化することなく、貨物艙容積を確保した設計としています。また、LNG燃料タンクへの延焼を防ぐ防火構造や点検作業性を考慮してタンクカバー付きを検討しました。なお、LNG燃料供給システムの検討はTGE Marine Gas Engineering GmbH及び三井造船株式会社殿と実施しました。



環境規制が国際的に強化される中、船舶においても地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、大気汚染の原因となる硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)や窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)の排出基準が国際海事機関(IMO)により段階的に定められています。本船は、燃料にLNGを使用することにより、SO<sub>x</sub>はもとより、NO<sub>x</sub>やCO<sub>2</sub>の排出量も重油を燃料とする船舶に比べ大幅に削減することができます。

当社は、地球環境保全の観点から、船社、荷主の要請に対応すべく、さらに環境負荷の低い船舶の開発に挑戦いたします。

### ※1 AIP (Approval in Principle) :

新規技術や既存規則が詳細に規定していない分野において、専門家によりリスク評価を踏まえた設計基本承認。AIP取得は本技術・コンセプトを導入した基本設計に関するフィジビリティスタディが完了したことを意味し、その後の詳細設計への展開をクリアかつスムーズなものとする事ができる。

### ※2 HAZID (Hazard Identification Study) :

システムの潜在的危険性についてその大きさと発生頻度を専門家間で討議し、システム全体として十分な安全性を持つようにするリスク評価・管理手法。

<問い合わせ先>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目15-12  
株式会社名村造船所 経營業務本部 企画部  
TEL : 03-6324-4971 FAX : 03-6324-1999  
URL : <http://www.namura.co.jp>